

ICTで 授業をDX!

学年 小学校3年 教科 国語 など

マイ黒板で、考えの整理・交流・蓄積が簡単に!

使用するアプリケーション等
・まなビューア
・Google Classroom

単元・題材 場面をくらべながら読み、感じたことをまとめよう
「ちいちゃんのかげおくり」

本時の目標 登場人物の気持ちについて叙述をもとに捉え、これまでの場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、自分の考えを持つことができる。(思考力、判断力、表現力等)

ICTを活用することで できること

- ・音声再生機能を活用し、再生速度や感覚の有無などをカスタマイズすることで、自分のペースで音読練習をすることができる。
- ・マーキングや書き込みが簡単にできることで、学習者にとって内容理解や文章構成の把握をしやすい。
- ・本文抜出機能(マイ黒板)を使うことで、登場人物の行動や言動の整理分類がしやすい。また、それをもとに意見交流することで、交流が活発になる。
- ・Google Classroomに提出させることで、児童の考えが蓄積でき、評価に使うこともできる。
- ・ワークシートを印刷する必要がなく、学習・成果物の収集・振り返り(評価)が全て端末で完結できる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ①本時の学習のめあてを確認する。
 - 前時に学習した場面の感想を紹介し、本時へとつなげる。

めあて
第4場面の「ちいちゃん」と読み手の気持ちをくらべよう。

2 展開

- ①第4場面の音読・内容把握。
 - 適宜、区切りながら全体で音読をする。
 - 使われている言葉に着目させ、現実ではないことを捉えさせる。
- ②教科書に線を引いたことを、ワークシートにまとめる。
 - 家族に会えてうれしい「ちいちゃん」の気持ちと自分の死を自覚していない「ちいちゃん」の姿から強調される悲壮感の対比をワークシートにまとめる。
- ③ワークシートに書いたことを交流し、加筆・修正をする。
 - 友達と交流し、意見を聞いたり、話したりする。交流の中で、よいと思った意見を自分のワークシートに加筆・修正をする。

3 まとめ

- ①全体で発表する。
 - ワークシートをもとに発表する。
 - 感想や意見を交流する。
- ②振り返りを記入する。
 - 本時の学習で感じたことや新たに抱いた疑問を整理する。



DX!

DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ①本時の学習のめあてを確認する。
 - 前時に学習した場面の振り返りを紹介し、本時へとつなげる。
 - あわせて前時終了時に児童に提出させたマイ黒板の画像を紹介し、どのようなことを考えたのか意見交流を行う。



めあて
第4場面の「ちいちゃん」と読み手の気持ちをくらべよう。

2 展開

- ①第4場面の音読・内容把握。
 - デジタル教科書を使い、イヤホンで朗読を聴取しながら自分のペースで繰り返し音読をする。
 - 使われている言葉に着目させ、現実ではないことを捉えさせる。
- ②デジタル教科書に線を引いた箇所を、マイ黒板にまとめる。
 - 家族に会えてうれしい「ちいちゃん」の気持ちと自分の死を自覚していない「ちいちゃん」の姿から強調される悲壮感の対比をマイ黒板にまとめる。
 - マイ黒板には、ちいちゃんの気持ちや出来事を本文抜出機能を用いて、整理する。



- ③マイ黒板にまとめたことを交流し、加筆・修正をする。
 - 交流の中で、よいと思った意見を自分のマイ黒板に加筆・修正をする。また、交流で生まれた考えは付箋で書きためておく。



3 まとめ

- ①全体で発表する。
 - マイ黒板をもとに発表する。
 - 感想や意見を交流する。
- ②振り返りを記入する。
 - 本時の学習で感じたことや新たに抱いた疑問を整理する。
 - マイ黒板をGoogle Classroomの授業「課題」へ提出させる。

授業者から (成果・課題・留意点)

- ・用意されたワークシートに書き込む授業から、マイ黒板を一から作る授業なので、子供たちにとっては時間が足りず「もっとやりたい」という声が上がった。マイ黒板の作成時間の確保については工夫が必要である。
- ・一人一人違うマイ黒板の画面をもとに交流することで、友達との相違点から自然と意見交流が活発になっていった。
- ・マイ黒板を毎時間提出させることで、授業後も一人一人の評価(「思考・判断・表現」の評価として活用)を行うことができた。
- ・めあてと振り返りはノートで書かせた。その時間の学びをノートに書く作業を通し、改めて思考の整理ができると考えた。